

個人質問

津みらい

さとう ゆうき
佐藤 有毅

録画映像



問 一級河川雲出川水系の河川整備について問う

平成26年に雲出川水系河川整備計画が策定されてから10年が経過し、国土強靱化計画の加速化による予算措置や、新たな流域治水、特定都市河川に対する施策も始まってきている。これまでの進捗状況と令和6年度に予定されている事業は。また、流域治水の加速化・深化や、洪水予測の高度化としてのデジタルトランスフォーメーション(DX)は、どのように考えているのか。

答 下流部整備がおおむね完成し、中流部整備へと移行している

雲出川水系河川整備は、平成30年度から国土強靱化事業の予算追加により、下流部整備が約2年ほど前倒ししておおむね完成し、中流部整備へと移行してきた。令和6年度に予定されている事業は、令和5年度の国土強靱化事業の補正予算9億6,000万円を活用し、須ヶ瀬地区では河道掘削や矢板護岸整備、其村地区では堤防整備工事が行われ、雲出古川左岸の八幡樋管改築に伴う堤防整備工事も行われる。また、洪水予測のDXの推進は、雲出川では洪水予測の精度が向上し、国から提供される河川水位予測により、津市の防災対応や避難情報などの発令の支援につながっている。

その他の質疑・質問

- 議案第38号 令和6年度津市一般会計予算
 - 地域防災情報通信システム整備事業について
 - 名松線利活用関係事業について
 - 施政方針より、防災・減災対策をさらに強化することについて
 - 教育方針より、「津市GIGAスクール構想の実現」について
- など

JR名松線伊勢奥津駅に隣接する旧給水塔は、国内に数基しか現存しない貴重な鉄製タンク



個人質問

こうめいとうぎいんだん
公明党議員団

ほりぐち じゅんや
堀口 順也

録画映像



問 三重短期大学の学生による災害ボランティアの考えは

近年、国内のボランティア人口は減少傾向にある。全国社会福祉協議会によると、2022年時点で約668万人とピーク時の約868万人から約23%も減っている。是非、多くの若者に災害ボランティアを経験してほしい。三重県の「令和6年能登半島地震災害ボランティア活動費等助成事業」等を活用するなどして、学生が災害ボランティア活動に参加しやすくなるようサポートをお願いしたい。

答 学生の成長につながるものでもあり、修学上の配慮等を行う

学生が災害ボランティアとして被災地を訪れ、災害現場の復旧作業や被災者の支援を行う活動に参加することは、被災地の早期の復旧・復興のために重要であると認識しており、社会の課題と直接向き合うことによって、学生自身の成長につながる一面もあるものと考えている。このため、学生から災害ボランティアへの参加希望があった場合には、受入先や日数等の活動内容を確認し、学業面で不利益が生じないよう欠席した授業の配慮やレポートの提出による学修成果の評価を行うなどの対応を行うほか、万が一の事故等に対応したボランティア保険への加入の案内なども行う。

その他の質疑・質問

- 自助・共助による備蓄とは
 - 市による備蓄(公的備蓄)の考え方は
 - 避難所トイレ関係の備蓄状況は
 - 流通備蓄で調達できる品目は
 - 自動車避難施設への誘導の考え方は
 - 車中泊避難者への支援は
 - 避難所外避難者への具体的な対応は
- など

奥能登ベースキャンプに掛けられたボランティアへの感謝の文字

